

とむ歯科新聞

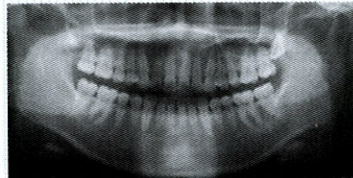
～12月号～

12月になりいよいよ今年もわずかとなってまいりました。今月のテーマは、レントゲンはなぜ必要なの？です。少し詳しく考えてみたいと思います。

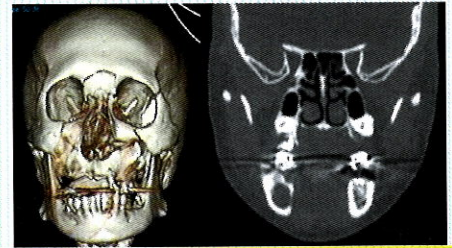
(1) 虫歯や根の状態、歯周病の状態を詳しく調べるのに用います。



(2) 歯や顎骨の全体像を確認するのに用います。



(3) 3次元的に描出し、骨の性状や骨量などを詳細に分析できます。



◇どんな時に撮影しますか？

- ・初診時に虫歯の有無を含め、口腔内の状態を評価します。
- ・定期的に撮影することで、歯周病の改善や悪化を確認します。
- ・根の治療後に治療状態を確認します。
- ・インプラント治療を含め、外科治療の前後に撮影します。

他には、ガン、顎骨腫瘍、顎関節症、唾液腺の異常、脂質の多い食事内容による頸動静脈の閉塞、リウマチなどの自己免疫疾患による顎関節の異常などもわかります。特に小さいお子様においては歯の数の異常や先天的な異常を確認する上で、非常に大切です。

◇妊娠中はレントゲン撮影してはダメなの？

とむ歯科でも妊産婦検診をはじめ、多くの妊娠中の方がいらっしやいます。極力撮影は避けますが、治療においてどうしても必要な場合や、撮影をした方がリスクよりメリットが多い場合などは、撮影したほうが良いこともあります。

著) 歯科医師 井上 仁